

SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.199＞ 2025 年 9 月 22 日号



夏期子ども自然体験キャンプ

今夏、全国8会場(SYD主催4会場、連合会・クラブ等共催4会場)で「子ども自然体験キャンプ」を開催。記録的な猛暑の中、参加した子どもたち、またスタッフや青年リーダーにとって夏の思い出深いひとときとなった。

※表示の人数は「キャンパー」+「スタッフ・リーダー」

★SYD主催(子どもゆめ基金助成活動)

8/8～11…道南ふれあい 28人+34人〔北海道
乙部町・姫川ふれあいセンター〕《志村和也、林春幸》
※障がい児1人招待



8/7～10…桧原湖畔 90人+39人〔福島県北塩
原村・ぱんだいふれあいびあ〕《谷野渉、鈴木綾》
※障がい児6人招待



8/21～24…瀬戸内海 55人+20人〔香川県小豆
島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕
《板倉和也、林春幸》



8/22～24…鹿児島 56人+33人〔鹿児島県鹿児
島市・八重山公園キャンプ場〕《志村和也、栗原浩司》
※台風接近のため2泊3日で短縮開催



★連合会・クラブ等共催

8/21～24…いばらき 35人+26人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいぴあ〕 《谷野渉》



8/9～12…友愛 14人+27人〔滋賀県東近江市・四季の森〕 《板倉和也》



8/22～24…広島 35人+18人〔広島県広島市・ユーハイム似島歓迎交流センター〕 《保坂正志》



8/9～12…北部九州 53人+38人〔福岡県北九州市・市立玄海青年の家〕 《保坂正志》



報告（青少年事業）

7/16～8/14…ブラジル修養団「青年リーダー日本研修」〔東京都・福島県・三重県ほか〕



永山ミキさん（30歳・社会人）と草野ヴィクトルゆうじさん（29歳・社会人）が、30日間の研修日程を終え、帰国した。

滞在中は本部研修のほか富士登山、「全国青年アカデミーキャンプin福島」、「松原湖畔子ども自然体験キャンプ」、伊勢青少年研修センターでの少年少女講習会にも参加した。



また、8月11日はSYD本部での「青年ボランティアゼミナール」で、『「友情 AMIZADE」～ブラジルと日本～』をテーマに講演した。（参加者23人）

7/31～8/4…「全国青年アカデミーキャンプin福島」23人〔福島県北塩原村・ぱんだいふれあいぴあ〕
《岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介、林春幸》

全国各地の中学生から社会人、来日中のブラジル青年リーダーが集い、「これからの幸せを語ろう～愛と実践のSDGs～」をテーマに5日間のキャンプ生活に臨んだ。



期間中はテント設営や野外炊事、キャンプファイヤーなどを体験し、五色沼、小野川不動滝なども散策した。

室内研修では、メインテーマ「これからの幸せを語ろう～愛と実践のSDGs～」に沿って、映像学習や個人発表などをおこなった。

グループでは一日の振り返りや、「幸せとは？」という問いに対する意見をまとめ、最終日に発表した。



9/14～16…「子どもわくわく自然体験キャンプ」
〔福島県北塩原村・ぱんだいふれあいぴあ〕《増田航介、林春幸》
※詳細次号

★子どもWAKU×2ひろば

7/19～20…能登 36人〔石川県羽咋市・国立能登青少年交流の家〕
《谷野渉、林春幸》
「夢を乗せてロケットを飛ばそう！」をテーマ

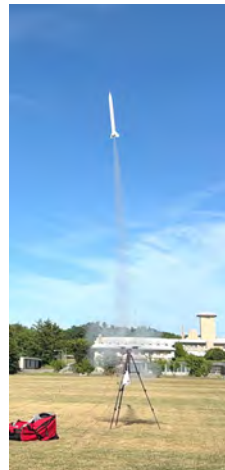
に、昨年発生した能登半島地震と豪雨災害で被災した能登地域の子どもたちの招待事業として実施。



川崎ロケット教室FUEL代表の伊東悠太さんから手ほどきを受け、子どもたちはロケットを組み立て、各々に色を付けるなどしてオリジナルのロケットを完成させた。

発射台から飛ばされたロケットは高々と空に舞い上がり、ロケットに組み込まれ空中から落ちてくるパラシュートを追いかける光景が見られた。

夜にはキャンプファイヤーをおこない、楽しいひとときを過ごした。



翌日は体育館でレクリエーション大会をし、ドッジボールなどで思い切り体を動かした。

7/19～21…美幌 35人〔北海道美幌町・グリーンビレッジ美幌〕
《板倉和也》



2泊3日のキャンプを実施。

「みんなでクッキング」では、初日にカレーライスを作り、2日目はホットドッグやジンギスカンでおなかを満たした。



2 日目はリーダーと子どもたちでレクリエーションをおこなう「わくわくフレンドパークin美幌」、午後は川でボート遊びと水鉄砲遊びをし、ずぶ濡れになりながら大いに盛り上がった。

夜のキャンプファイヤーでは、みんなで大きな声をあげて踊り、歌を歌って楽しんだ。

8/2…郡山 48人〔福島県猪苗代町・リステル猪苗代〕
《志村和也》



福島県郡山市のみどり幼稚園を卒園した子どもたちと、プール遊びやレクリエーションで交流した。



★WAKU×2ボランティアリーダー研修会
7/19～20…友愛 21人〔滋賀県東近江市・四季の森、岐阜県大垣市・大村公民館〕



今夏の友愛子ども自然体験キャンプに向け、会場として使用する建物の害虫駆除と清掃をおこなった。その後大垣市に移動し、看護師の竹嶋絵美子さんによる救急救命講習をうけた。翌日の朝食では、牛乳パックを使ったホットドッグ(カートンドッグ)作りを体験した。



7/26～27…瀬戸内海 10人〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕
《板倉和也》



テント設営、野外炊事などキャンプで実施する活動を実際に体験し、カヌーの使い方についても学習した。

協議では、グループごとに野外での安全対策や参加者をより楽しませるレクリエーションなどを考え、発表をおこなった。



9/13～14…沖縄 〔沖縄県読谷村・読谷村健康増進センター〕
《谷野渉》
※詳細次号

伊勢青少年研修センターの夏期事業

《武田数宏、保坂正志、斎田聖生、竹本英美、大平順一》
センターを会場とした合宿研修を3回、所外研修を1回実施。はきもの揃えや挨拶、返事などの基本的生活習慣を身につけるとともに、グループ活動を通じて思いやりの心、助け合いの心、そして感謝の心を学んだ。

7/23～25…「伊勢少年少女合宿講習会」

99人(一般社団法人伊勢青年会議所との共催事業)

7/28～30…「茨木寺子屋伊勢合宿」

49人(教育再生いばらきとの共催事業)

8/1～3…「岸和田少年少女サマースクール」

66人(公益社団法人岸和田青年会議所との共催事業)



2泊3日の期間中、キャンプファイヤーや野外炊事、五十鈴川での川あそびなどの野外プログラム、大講堂での静坐、館内と所外(神宮宇治橋前)掃除にもチャレンジした。



8/9～8/12…「伊勢・近江自然体験交流宿」

33人〔滋賀県東近江市・あいきょうの森キャンプ場〕
《根岸秋吉、武田数宏、栗原浩司、竹本英美、大平順一》
三重県伊勢市と滋賀県東近江市の子どもたちを中心に、異年齢・異地域のグループ(村)編成による交流合宿。



8/20～26…「青年ボランティア・アクションinフィリピン」28人〔フィリピン・マニラ市、ケソン市ほか〕

《山口千恵子、増田航介》

高校生から社会人まで28名が参加。

期間中、マニラ首都圏のナボタス市やスモーキーマウンテン(トンド)、ケソン市パヤタスなどを訪問し、日本から持参した「子ども支援バッグ」(日本各地からSYDにご寄付いただいたTシャツや学用品の入ったバッグ)500袋、ポシエット60個、ぬいぐるみ100個を地元の子どもたちに手渡し、交流活動を展開した。

このほか、「マザーテレサの家」での交流活動をおこなったほか、参加者のうち希望者は1泊のホームステイをし、訪問先のホストファミリーと交流を図った。



また、映画「神の子たち」「YIELD～子どもの瞳をみつめて～」などフィリピンを題材とした数多くの映画やドキュメンタリーの監督を務める瓜生敏彦さんが2014年に設立した劇場「TIUシアター」(マカティ市)を訪問し、勉強と合わせてダンス、歌など芸術面で技術をみがく子どもたちのパフォーマンスを鑑賞した。

さらに、スモーキーマウンテンやパヤタスの子どもたちと、動物園や遊園地での楽しいひとときを過ごした。





招待にあたり、皆様からお預かりした「幸せの種まき献金」を充当いたしました。
充当額につきましては、毎年度の献金報告書にて報告をさせていただいております。

8/11…『青年ボランティア・アクションinフィリピン』支援バッグ作成作業」43人

〔東京都渋谷区・SYDホール〕



上記事業実施に先立ち、東京近郊の青年リーダーが集まり作業をおこなった。

全国各地の連合会・クラブはじめ多くの学校・団体・個人より提供された文房具やTシャツを種類ごとに仕分けた後、手作りの布袋につめ、計515袋を準備した。

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

報 告

- 8/29 和歌山県海南市立下津第一中学校 110 人
8/29 和歌山県海南市立下津第二中学校 110 人
9/ 2 長崎県五島市立岐宿中学校 70 人
9/ 2 長崎県五島市立翁頭中学校 80 人
9/18 株式会社成美学園（埼玉県） 16 人

予 定

- 10/ 7 静岡県・浜松望星高等学校 1 学年

予 定

- 9/26…「青年ボランティアゼミナール」〔東京都渋谷区・SYDホール〕
「青年ボランティア・アクションinフィリピン」の参加者による体験発表を予定。

- 10/11～13…「沖縄子ども自然体験キャンプ」
〔沖縄県渡嘉敷村・国立沖縄青少年交流の家〕
《谷野渉、鈴木綾》

- 10/15～17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、宮崎玲良、斎田聖生、竹本英美、大平順一》

ご 案 内

各連合会・クラブから全国各地の連合会・クラブ等（約120ヶ所）へ送付を希望される印刷物（「SYDかわらばん」に同封可能な印刷物）がありましたら、毎月15日までに社会教育部にご連絡ください。

新規採用職員(9月1日付)

宮崎 玲良 講師研修生
伊勢青少年研修センター勤務

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : <https://syd.or.jp/>

SYD

検索